

〈2014年度 第2回：NGO・外務省定期協議会 議題案／質問状記入シート〉

締め切り【11月14日（金）】 送信先：oda.advocacy@gmail.com

*分量は問いませんので、必要に応じてページ数を追加してください。

*今回は、議題提案は原則1団体1議題提案でお願いいたします。

1. **議題案名**：

新大綱における「官民連携」と「三角協力」の推進が提示しうる課題について
～プロサバンナ事業の事例より～

2. **議題の背景**：

現大綱では、貧困をなくすための具体的なアプローチとして、貧困層を対象とした直接的な社会開発支援に高い優先順位が与えられているのに対し、新大綱では、「質の高い成長とそれを通じた貧困撲滅」として、経済成長に高い優先順位が置かれている¹。また、実施においては、「官民連携」ならびに「三角協力」の推進が掲げられている²。なお、新大綱は、政府開発援助を「官民連携」ならびに「三角協力」の下で推進した際に生じうるリスクや課題、またそれらへの対処方法について触れていない。

一方で、「官民連携」ならびに「三角協力」が謳われてきた具体的な政府開発援助事業の事例として、2009年にブラジル・日本・モザンビークの3カ国によって合意されたプロサバンナ事業が挙げられる³。プロサバンナ事業については、現地農民団体や市民社会からの批判や懸念の声を受ける形で2012年12月に開催された第2回ODA政策協議会で議題として提起されて以来、計9回にわたり開催されてきた「ProSAVANA事業に関するNGO・外務省意見交換会」において、NGOならびにJICA外務省の間で継続的な協議が行なわれてきた。

3. **議題に関わる問題点（議題に上げたい理由）**：

プロサバンナ事業について提起されている課題の一部は、政府開発援助事業を「官民連携」ならびに「三角協力」案件として推進する中で生じているものと言える⁴。これら課題を今一度整理し、提示することにより、新大綱が掲げる「官民連携」ならびに「三角協力」によって生じる可能性が高い課題について提起したい。また、具体的事例に引き寄せることで、新大綱に関するより詳しい外務省見解を伺いたい。そして、プロサバンナ事業において既に浮上している論点について、新大綱が、どのように対処しうるのか否かについて協議したい。

¹ 政府原案「II 重点政策 (1) 重点課題 ア『質の高い成長』とそれを通じた貧困撲滅」

² 政府原案「II 重点政策 (2) 実施体制 イ 連携の強化 (ア) 官民連携、自治体連携」ならびに「II 重点政策 (2) 実施体制 イ 連携の強化 (エ) 他ドナー・新興国等との連携」

³ 「日本・ブラジル・モザンビーク三角協力による熱帯サバンナ農業開発プログラム (ProSAVANA-JBM)」

⁴ 「プロサバンナ事業考察 概要と変遷、そしてNGOからの提言」を参照。

4. **外務省への事前質問（論点を詰めるために事前に確認しておきたい事実関係など）**：

以下、議題に関わる論点で事前に回答いただける部分があればお願い致します。

5. **議題に関わる論点（定期協議会の場で主張したいことや、外務省に確認しておきたいと現段階で考える点）**：

※ 外務省からの事前質問の回答によって変更することは可能です。

(1) 政府開発援助を「官民連携」ならびに「三角協力」の下で推進した際に生じうるリスクや課題の有無、またその内容についてどのように捉えているか。

(2) 官民連携や三角協力という援助の形態において、政府開発援助に求められるべき公益性、透明性、アカウンタビリティ確保をどのように考えるのか。ODAに関する実施原則やアカウンタビリティを担保するためのガイドライン等を有さない新興国と連携した三角協力の下で政府開発援助事業を行なう場合、事業に対する援助国としての日本政府のアカウンタビリティはどのように担保されるのか。

(3) 重点課題として「『質の高い成長』とそれを通じた貧困撲滅」が挙げられているが、経済成長が「包摂的」であり、「持続可能」であり、「強靱性」を兼ね備えた「質の高い成長」であることを判断／評価／担保するための具体的指標や判断基準をどのように考えているか。

(4) 政府開発援助を官民連携の下で行なう場合、企業の行動に対して政府はどこまでの責任やアカウンタビリティを負っていると考えるのか。

6. **上記議題案が相当する当日アジェンダを下記より選択し、*に番号を明記してください。**

- 1) 「新・開発協力大綱」の文案について
- 2) 「新大綱」で想定される協力のあり方について（事例の検討）
- 3) 「新大綱」が必要とする組織・制度・関連メカニズムについて

***選択したアジェンダ番号：2)**

- 氏名：森下麻衣子
- 役職：アドボカシー・マネージャー
- 所属団体：（特活）オックスファム・ジャパン
- 連絡先：03-3834-1556
-

議題は、次の3団体による共同提起としたい。(1)（特活）アフリカ日本協議会 (2)（特活）オックスファム・ジャパン (3) 日本国際ボランティアセンター